学校番号	２１２

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報の科学	単位数	２単位	年	３年
類型等	文選択						
使用教科書	最新　情報の科学　新訂版（実教出版）						
副教材等	３０時間でマスター　Word　&Excel　2019（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「情報の科学」の目標は、１年次に学習した「社会と情報」の内容を活かし、日常生活における問題解決を図るために文書作成ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーション作成ソフトをより駆使し、専門的、視覚的に活用する能力を学習します。ただし、情報の世界も現実の世界と同じく日々変化を続けています。ですから、単純に今あるコンピュータの操作方法を学ぶだけでは「情報を活用する能力」とはいえません。普段からニュース等で教科書以外のところからも見識を深めていき、対応できる能力を身につけていきましょう。

また、今のあなたたちは「聞き手を意識したプレゼンテーション」が求められ、自分の意見や考えを伝えるだけでなく、そこに更に新しいものを付加し、発信することができる人となれるよう様々な能力を高めていきましょう。

２　学習の到達目標

・社会に出ても役立つ情報リテラシーに関する検定にも対応できる能力および技術
・プレゼンテーションにおいては、アイデアの構築や多面的に物事を考え効果的に伝えるための学習

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・授業中の取り組み、態度 ・自分の作品を、より良い物にしようとする意欲、工夫、態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報や情報社会に関心を持ち、主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・課題に対して「求められていることは何か」「何が必要か」「どう表現すればよいのか」を自ら考えることができる力 ・身の周りの事象を、情報とその結びつきの観点から捉える力	・課題を解決するために必要な、基礎的・基本的な技能を身につけ、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、それを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の中で、情報および情報技術の意義や役割の理解 ・情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	学習状況の観察 学習プリントの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価　等	学習状況の観察 学習プリントの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価　等	学習状況の観察 実習作品、課題作品 レポート、発表 実技テストの結果　　等	学習状況の観察 学習プリントの記述 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	Word実習	・入力の基本 ・ビジネス文書の書き方 ・Word 実技テスト （地図作成含む）	○	○	○	○	a: ・実習や作品制作に意欲を持って取り組んでいる。 ・自分の作品をよりよくしようと工夫している。 b: ・自分の表現したいものをどうすれば表現できるか考えることができる。 c: ・ビジネス文書が作れる。 ・word に表を挿入できる。 ・図形等を利用して地図等を描くことができる。 d: ・word の機能について知識を持ち、適切に利用できる。	実習作品 課題作品 実技テスト 学習プリント
	問題解決	・問題解決の方法と手順 ・問題解決の手法 ・情報の収集 ・データの分析 ・解決案と実施・評価	○	○	○	○	a: ・興味を持って、体験的な学習や授業に積極的に取り組んでいるか。 ・グループでの活動に積極的に参加しているか。 b: ・学校など身近なところに、どのような問題があるか見つけられるか。 ・出されたアイデアをまとめて表現できるか。 c: ・まとめた意見をワープロソフトや表計算ソフトで記録することができるか。 ・表計算ソフトを利用して、データの並べ替えや様々なグラフを作成できるか。 d: ・質問紙の作成や結果の整理・分析手法について理解しているか。 ・情報の収集と検索、データの分析、解決案の評価や改善について理解しているか。	授業観察 実習作品 課題作品 学習プリント

2学期	Excel 実習	・データの入力 ・多様なグラフの作成 ・いろいろな計算 ・関数の利用 ・データの検索 ・Excel 実技テスト	○	○	○	○	a: ・実習や作品制作に意欲を持って取り組んでいる。 b: ・課題に応じて利用するグラフを適切に選択できる。 ・条件に合わせて適切に関数を選択して利用できる。 c: ・表計算ソフトへのデータの入力と抽出ができ、関数を利用できる。 ・表計算ソフトを利用し、条件にあうデータの検索ができる。 ・目的に応じて数値の変化や割合などをわかりやすいグラフで表現できる。 d: ・グラフの種類や機能について知識を持ち、適切に利用できる。 ・目的に応じて数値の変化や割合などをグラフで表現する知識がある。 ・条件に合わせて関数を選択して利用するための知識がある。	実習作品 課題作品 実技テスト 学習プリント
	情報社会の発展と知的財産権	・コミュニケーション ・ネットワーク ・情報セキュリティ	○	○	○	○	a: ・興味を持って、体験的な学習や授業に積極的に取り組んでいるか。 ・よりよい情報社会を作っていきたいという態度があるか。 b: ・情報格差など情報化の課題について説明できるか。 ・引用する際の注意点について説明できるか。 C: ・文字の大きさや画像に注釈をつけるなど、閲覧者に配慮した作品を作成できるか。 ・著作権などに配慮して、資料や報告書、Web ページなどを作成しているか。 ・引用のルールを守って、作品を作成しているか。 d： ・情報技術の発達による社会・生活の変化や情報技術の発展について理解しているか。 ・肖像権やパブリシティ兼、引用について理解しているか。	授業観察 学習プリント 実習作品 課題作品

3学期	アルゴリズムとプログラム	・アルゴリズムの基礎 ・アルゴリズムの応用	○	○	○	○	a： ・興味を持って、体験的な学習や授業に積極的に取り組んでいるか。 ・例題のプログラムの作成や変更など、積極的に行っているか。 b: ・パズルを解くときにコンピュータを利用する場合としない場合の手順について考えられるか。 c: ・簡単なアルゴリズムのプログラムを作成できるか。 d: ・表計算ソフトを利用したパズルを解くプログラムを理解しているか。 ・フローチャートやアルゴリズムの基本構造について理解しているか。	授業観察 学習プリント 実習作品 課題作品 実技テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。